

平成29年 3月 28日

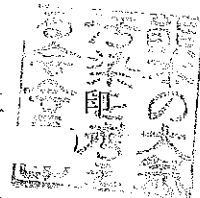
（あて先）熊本市長

郵便番号

住所

団体名 熊本の大気汚染を考える会

代表者 職名 会長 氏名 中嶋弘二



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成28年 4月 1日付け指令（地活）第1－4号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第20条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

分野指定助成（環境の保全を図る活動）

熊本の大気汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動

2 助成事業の実施期間

平成28年 4月 1日 ～ 平成29年 3月 28日

3 助成事業の内容

大気汚染測定運動東京連絡会の協力を得ながら、夏と冬年2回、熊本市内を中心に県内400カ所の大気汚染測定を実施し、熊本の大気汚染の状況を調べた。また、「熊本の大気汚染について」のパネル展や講演会の実施などの活動を通して「環境にやさしい生活」を心がける市民を増やすとともに会員の増員に努めた。

4 事業の成果

助成事業として、夏・冬年2回の大気汚染測定の実施や「熊本の大気汚染について」のパネル展や講演会の実施などの活動を通して「環境にやさしい生活」を心がける市民を増やすとともに会員の増員に努めた。今後とも、「熊本の大気汚染測定活動」を通して、安心・安全な熊本の街づくりに貢献していきたい。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書（様式第16号）
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業報告書

平成28年度	
事業名	熊本の大気汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動
目的	熊本での大気汚染測定運動を通して、「環境保全を図る生活」に取り組むと共に、その活動を市民に広げていきます。具体的活動として、1. 全国一斉大気汚染測定(夏・冬2回)に参加します。2. 大気汚染測定の体験を多くの人に広めることにより、大気汚染公害をなくし、健康的なまちづくりや地球温暖化防止に関心を持つ市民を増やします。3. パネル展や環境教育講演会等を通して、市民へ環境問題に取り組む場を提供します。
事業期間	平成28年 4月 1日 ～ 平成29年 3月 28日
具体的な事業内容	本会は、大気汚染測定運動東京連絡会の協力を得ながら、夏・冬2回の大気汚染測定を継続して実施して24年になります。熊本県内400カ所の大気汚染の測定を実施し、その結果をまとめて、県・市の環境保全課や新聞社にも資料提供を行ってきました。また、積極的に「環境フェア」での展示アピールや小・中学校等において環境教育講演会「熊本の大気汚染について」も実施してきました。 昨年度に続いて、来年度も熊本市市民公益活動支援助成事業に認められ、「熊本の大気汚染測定運動を通して郷土の環境保全を図る活動」に積極的に取り組み、「環境にやさしい生活」を心がける市民や会員を増やすと共に健康で安全な熊本のまちづくりに取り組むことができました。 その具体的な取り組みとして 1. 夏(6月)・冬(12月)の2回の大気汚染測定に取り組みました。 大気汚染測定運動東京連絡会の協力を得ながら、測定用カプセルの準備・配布し、回収・整理・結果分析等を行いました。結果をまとめ、会報「大気汚染を考える会ニュース49号」「50号」を発刊し、会員等に配布した。 2. 市民への活動報告や新会員勧誘活動に取り組みました。 1) 熊本地震により、「くまもと環境フェア2016」が中止となったので、代わって尚絅大学園祭(ホームカミングデー平成28年11月20日)において「熊本の大気汚染について」のパネル展を実施することができました。 2) 平成29年2月12日、くまもと県民交流館パレアにおいて「熊本の大気汚染について」の特別講演会を実施しました。「熊本市の児童・生徒のぜん息罹患率」や「24年間の活動報告」も発表できました。 3) 平成29年1月13日、シティFMラジオ番組に生出演して、会の活動の様子や『講演会』への参加呼び掛けることができました。 4) 会員募集チラシを作成し、新会員の募集活動に取り組みましたが、思うような増員に繋げることができませんでした。 3. 県や市の環境保全課、学校や新聞社に測定結果や資料を提供したり、行政やマスコミ等と協力したりながら、大気汚染対策や「環境にやさしい生活」の啓発に取り組みことは、十分にはできませんでした。今後の課題です。
活動場所	熊本市および熊本県 運営委員会は「くまもと県民交流館パレア」または「あいぼーと」
期待される効果	誰でも簡単に測定できるカプセルを使った大気汚染測定を市民や児童・生徒に体験してもらうことにより、大気汚染が身近な問題であることに気付き、大気汚染対策について考えるきっかけづくりなることを期待します。 また、市内の小・中学校での「環境教育講演会」を実施して、「便利さ快適さばかりを追求しないで、自分にできる大気汚染対策について考え、行動できる」ように啓発活動に取り組み、健康で安全な熊本のまちづくりに貢献していきたいです。

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	129,517	会費 2,000円×35=70,000円 事業収益 その他 前年度繰越金 59,517円
	市民公益活動支援助成金	240,000	当該事業助成金交付決定額
	その他の補助金・助成金		
	寄附金・協賛金		
	その他		
	計	369,517	
支 出	人件費	0	
	報償費	0	
	役務費	44,600	1. 切手代 22,300円 夏測定者へカプセル送料 @120円×50名=6,000円 結果通知・会報誌・パネル展案内送料 @82円×50名×3=12,300円 東京熊本カプセル送料往復 @100円×40=4,000円 6. 切手代 22,300円 冬測定者へカプセル送料 @120円×50名=6,000円 結果通知・会報誌・講演会案内送料 @82円×50名×3=12,300円 東京熊本カプセル送料往復 @100円×40=4,000円
	使用料・賃借料	3,240	5. 特別講演会会場使用料
	事務費	264,165	2. 夏測定用カプセル @200×400本=80,000円 4. 印刷(コピー)費 8,000円 測定結果報告書 @10円×8枚×50名=4,000円 会報誌 @10円×2枚×100=2,000円 パネル展案内チラシ @10円×4枚×50名=2,000円 8. 冬測定用カプセル @200×400本=80,000円 9. 印刷(コピー)費 26,000円 測定結果報告書 @10円×8枚×50名=4,000円 会報誌 @10円×2枚×100=2,000円 講演会案内チラシ @10円×2×1,000枚=20,000円 10. 印刷(コピー)費 20,000円 会員募集チラシ @10円×2×1,000枚=20,000円 3. 事務用品費 12,497円 インクカートリッジ・用紙・ペン 11. 事務用品費 37,668円 キヤノンインク・オケットLペン
	旅費	0	
	委託費	51,512	7. のぼり旗作成費 @7,056×2セット=14,112円 PRクリアファイル1000枚セット 37,400円
	その他	0	
	小計	363,517	
	助成対象外経	6,000	パネル展スタッフ弁当代 @600×10=6,000円
	小計	6,000	
	計	369,517	